

●市民記者が行く

津波供養塔

時空を超えて語り継がれる惨状

本須賀の畑の中に2つの石碑、百人塚と五輪の塔が並んで建っています。いまから約300年前の

1703年、元禄16年に起きた元禄地震の津波による犠牲者を供養したものです。

元禄地震は震源を野島崎沖、マグニチュード8.2と推定される巨大地震で、南関東一円に甚大な被害をもたらしました。とりわけ、九十九里地方一帯を襲った津波は言語に絶するものがあつたといえます。

本須賀の百人塚は、つくられた由来が今まで伝わる貴重な文化財です。ただ古文書は難しい言葉が多いので、元成東小学校長で郷

土史家の南波博美さんは誰にでもわかりやすい「語り部調」に直して語っています。

◆ あれは元禄16年11月23日の夜のことじゃった(いまの暦では12月31日、大晦日の夜のことだ)。深夜12時をまわり、誰もが寝入り静まり返ったところのことだっただろう。

突然大地が大きく揺れだしたんだよ。あんなの初めてのことだ。天地がひっくり返るとはあんなことを言うんだべなあ。なんたつて逃げようにも足が地につかず動けねえんだから。ただただその場でおろおろするばかりだったよ……。家々はみんなつぶされ、周囲の山も崩れ、また池は土砂で埋まるなど、それはもう想像もできないひどい状態があたり一面に広がってなあ……。 ◆

地震が少し収まったころ、村ではあちこちに人が集まり励まし合いながら地震の恐怖に耐え、明るくなるのを待ってたんじゃないあ。

真冬の晴れわたった夜明け前のこと、その寒かったこと……。でもよ、あのときはまさかこのあと、もっと恐ろしいことがおらたちを襲うなんて誰も考えてなかったなあ。……。あの海が山となって陸地に襲いかかるなんてよ。

◆ 何時ごろだっただろうか、もちろんまだ明けやらぬ深夜のことだ。突然山のような津波が沿岸に押し寄せたのは……。それがまる

で矢のような勢いで波打ちぎわに並ぶ漁船や人家をあっという間に微塵に碎き押し流していったんだよ。あちこちに集まっていた人もひとつたまりもねえ……。 ◆

津波の引いた田んぼや畑のあぜや堀には、たくさん死んだ人が横たわっていたもんだ。この本須賀村では、96人もの犠牲者を数え、みんな合葬したんだ。それがこの百人塚なんじゃ。

◆ 本須賀の百人塚だけでなく、犠牲者を悼む供養塔は市内には松ヶ谷の千人塚、蓮沼・蓮花寺の千人塚があり、さらに房総半島各地には多くの供養塔・碑や墓碑が残さ



●「元禄地震の翌年に高さ2.4 m、長さ5 kmの防潮堤がつくられたが、いまでは40 mほどしか残っていない」と南波さん(蓮沼・東殿下バス停付近)

れています。

これらの碑は、「単に犠牲者を供養するためのものだけではなく、後の世に生きる私たちへの忠告の碑でもあります。先人たちの声に耳を傾けてみてはいかがでしょう」と南波さんは警鐘を鳴らします。

東日本大震災によって、市の沿岸部を津波に襲われ甚大な被害を受けてから4年。木戸地区に津波避難タワーが完成するなど備えは着々と進んでいるようですが、地震や津波から身を守るには、私たち一人ひとりが過去の災害を忘れることなく備えておくことが必要と感じました。

ある 歩いて眺めておどろいて



千葉大学の学生が地域キャラクターが果たす役割を研究テーマとして掲載しています。

【作者】千葉大学 デザイン文化計画研究室

第4回いちごの里さんむ S1グランプリ開催

「S1」のSは、さんむ、ストロベリー、スイーツの頭文字をとったもの。山武市特産のおいしい苺を使ったスイーツが勢ぞろいします。

来場者の皆さんの投票でグランプリが決定しますので、おいしいスイーツを食べ比べてぜひ投票にご参加ください。ご来場をお待ちしています。



日時 **3月14日(土)**
午前**11**時～午後**3**時（雨天決行）

場所 蓮沼海浜公園第1駐車場
（蓮沼ガーデンハウスマリーノ前）

出店予定数 23店舗

※売り切れの場合はイベント終了時刻が早まる場合があります。

※スイーツは有料での販売です。

問 S1実行委員会（農商工・観光課内）

☎0475(80)1202

文化芸術による子供の育成事業 校歌の伴奏はオーケストラ

文化庁主催の文化芸術による子供の育成事業「巡回公演事業」で成東小学校が選ばれ、「ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団」による演奏を鑑賞・体験しました。

児童の指揮に合わせて楽団員が演奏する指揮者体験コーナーや、校歌をオーケストラの伴奏で歌うなど。とても貴重な体験をした児童たちの笑顔が体育館にあふれていました。(1月28日)



▲オーケストラの伴奏で校歌を歌う児童

ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団の皆さん



▲白幡八幡神社伝承文化保存会による恵比寿舞

山武市郷土芸能振興大会 市内の郷土芸能が集結

2月1日、成東文化会館のぎくプラザホールで平成26年度山武市郷土芸能振興大会が開催されました。この振興大会は、失われつつある郷土芸能の保存と伝承および普及活動の一環で開催しています。今回は山武市内の11団体が、地域に伝わる神楽や獅子舞、お囃子、和太鼓など日ごろの活動の成果を披露しました。

詰めかけた大勢の観客からは、熱のこもった舞台に大きな拍手が贈られました。見学した方は「各団体それぞれ特徴があり、郷土芸能の奥深さを感じました。地域でこの素晴らしい伝統を大切に守ってほしい」と笑顔で話していました。

第45回山武郡市民駅伝競走大会 みんなの思いをタスキでつなぐ

2月11日、蓮沼地区を会場に、市町対抗の第45回山武郡市民駅伝競走大会が行われ、郡内の3市3町の7チームが熱戦を繰り広げました。

山武市からは2チームが出場し、結果は、山武市Aチームが総合4位、山武市Bチームが総合6位でした。

山武市代表 A・Bチームの皆さん▶



五所神社節分祭



蓮沼地域の五所神社で節分祭が行われました。「福は内、福は内」の掛け声とともにたくさんの福豆やお菓子が撒かれ、集まった地域の方が福を授けようと懸命に手を伸ばしていました。(2月3日)

全国にら生産者千葉大会



にらの栽培技術の向上を目的に「全国にら生産者千葉大会」が開かれました。南郷地区の大津秀敏さんと石橋清一さんが丹精込めて作った、にらの圃場を全国から集まったにら生産者が見学しました。(2月4日)

みそづくり講習会



手づくりみその講習会が松尾ふれあい館で開かれました。圧力釜で大豆を煮たあと、塩と講師手作りの麴を合わせ、みそ玉を作りました。参加者はマイみそができあがるのを楽しみにしていました。(2月8日)



山武市ボッチャ体験交流会

パラリンピック正式種目

「ボッチャ」を体験



模範演技を披露する藤井選手(左)▶
と広瀬選手(右)



パラリンピック正式種目「ボッチャ」を多くの人に知ってもらうため「ボッチャ体験交流会」が2月1日、蓮沼スポーツプラザで行われました。ボッチャは革製のボールを投げたり転がしたりして白色の的玉にどれだけ近づけられたかを競う競技です。

千葉ボッチャ協会長宮坂昇さんと国際大会で活躍する広瀬隆喜選手、藤井金太郎選手を講師にお招きし、大人から子どもまで、障がいのある方もない方もみんな一緒に「ボッチャ」を楽しみました。

JAPANのユニフォーム姿の広瀬選手、藤井選手と対戦した参加者は、「簡単そうに見えるけど奥が深い競技。ぜひまたやってみたい」と話していました。



真剣勝負のあとは笑顔がこぼれます。▶



▲蓮沼むらづくりのメンバーで、手作り感のあふれる講演会を開催



市民協働による地域づくり講演会

市民協働最前線

1月28日、蓮沼スポーツプラザで、市民協働による地域づくり講演会が開催されました。講演会では、主催者である蓮沼むらづくり協議会設立準備会会長の今関氏から蓮沼に魅力と活力と夢のある蓮沼むらづくりの実現に向けて、「蓮沼むらづくり協議会」の設立を目指していく旨の挨拶がありました。

千葉県内の各自治体で市民参加・市民協働に取り組む関谷昇千葉大学准教授を講師に迎え、蓮沼小学校区における「地域むらづくり」のあり方などについて参加者104人による熱気あふれる大勉強会が行われました。関谷先生は、参加者の地域づくりへの期待と情熱に応えるべく渾身の講義を展開し、市民協働の必要性や住民が主役のまちづくりへの方向性を訴えました。

第8回市民駅伝競走大会



山武地区を会場に開催された市民駅伝競走大会。参加した13チームの選手は、強風にも負けず力強い走りで優勝を競い合いました。

(1月18日)

優勝 日向 (A) 3連覇
準優勝 成東第3位 大平

新春将棋大会



日本将棋連盟成東支部恒例の新春将棋大会が成東中央公民館で開催されました。認知症防止にも良いとされる将棋。90歳以上のご長寿4人を含む90人が対局しました。最年長同士の対局は、96歳の今関進さん(松尾地区)と93歳の小崎崎良夫さん(成東地区)で、小崎さんが14勝12敗と一歩リードしているそうです。(1月25日)

防災講演会



さんぶの森文化ホールで、山武地区区長会主催による防災講演会が行われました。講師は、お天気キャスターで「関西の朝の顔」として活躍する気象予報士・防災士の正木明さん。正木さんは、「まずは自分の身は自分で守る『自助』、そのあと地域の人みんなで助け合う『互助・協働』をいかにスムーズに行うかが大切です」と話しました。(2月1日)

山武市の人口

(2月1日現在)

人口54,866(−38)

男27,429人

女27,437人

世帯数21,979(+3)

()は前月との比較
住民基本台帳法一部改正により、外国人住民も含んだ人数へと変更になりました。

ホームページアドレス <http://www.city.sammu.lg.jp/>
メールアドレス katsudoshien@city.sammu.lg.jp



健やかに育て 我が家のアイドル

我が家のアイドルを募集しています。お子さん(就学前まで)の写真を掲載しませんか。閩市民自治支援課 ☎0475(80)0152



あゆの
中澤 鮎乃ちゃん
H21.1.3生
目指せ未来の柔ちゃん。
春からまちにまった小学生、勉強にスポーツにがんばってね。(横田)



たすく
小笠原 侑くん
H26.5.23生
ごはんが大好き、モグモグごっくん！
離乳食も食べられるものが増えてきました。
たくさん食べて大きくなるぞー。(森)



みやすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境に配慮した「大豆インク」
を使用しています。

編集後記

新しい「くらしの便利帳」が出来ました！大きな SUN ムシくんの表紙が目印です。お家のわかるところに置いてもらえるとうれしいです。公共機関の電話番号や市役所業務が載っていますので、ぜひパラパラめくって見てください。もしもう 1 冊欲しいという方がいたら市役所や出張所にありますので声をかけてくださいね。(N)